

児童発達支援

【クローバーの支援方針】

健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言葉・コミュニケーション、人間関係・社会性

《本人支援の5領域》に沿った様々な楽しいプログラムの中で、

『あそび』を通じて、ルールやマナーなど社会スキルの向上を目指していきます。

また、個別支援により、子どもたちが将来、社会生活を円滑に営むために必要な支援を行います。

人と人が関わるどんな瞬間にも学びの機会があると考え、

私たちは一人ひとりのこどもたちの個性に寄り添い支援する事を心がけています。

～プログラム一例(公園活動)～

①運動・感覚

手と足を大きく振って、
地面を力いっぱい踏んで走ることで、
身体を動かす感覚や汗をかく心地よさを感じる。



「あそび」を通じて、 自分らしく成長♪

②人間関係・社会性

鬼をしたい！
逃げる人になりたい！
大人も介在しながら、集団の中で自分の
気持ちをお友達に伝える方法を学ぶ。



⑤認知・行動

どんな服装で遊ぼうか。汗をかいたらタオルでぬぐったり、時には着替えをお手伝い。
気温や自身の体温の変化に合わせて、
快適に遊ぶための方法を認知していく。

③健康・生活

おやくそくの時間になったら、
お友達と一緒に水分補給。
自分の体力はどれくらいあるだろう。
身体を動かして楽しく遊ぶために必要な休
息を体感しながら学んでいく。

～公園活動のプログラム～

公園で鬼ごっこ。

みんなでおやくそくを考えて、ルールを
確認してから鬼と逃げる人に分かります。
子供もスタッフも全力で走ります♪
水分補給も忘れずに。。

④言葉・コミュニケーション

背の高い遊具の上で走ったら、
どんなことが起こるかな？
「転んでしまうかも」「危ないから、遊具は歩こう？」
公園に行く前に、イメージを膨らませて、
安全に遊ぶためにはどんなおやくそくをしたらよいか、
お友達と言葉を交わす機会を作っていく。